



2月3日 東地申第49号

「2023年3月ダイヤ改正について」の申し入れ

【尾久車両センター・松戸車両センター・東京総合車両センター保全科田町派出所】

2023年3月ダイヤ改正は安全・安定輸送を確保することを前提に、在来線ではご利用状況にあわせた輸送体系の見直し、ホームドア導入に対応した表定時分の見直し、輸送体系の見直しに伴う列車削減本数は各線区で平日では夕夜間帯を中心に86本、土休日は77本の削減を行うことが示されています。

また、車両センター関係では尾久車両センターの体制変更が提案されています。業務の融合、兼掌を拡大し効率化を図っていくことが目的とされています。波動業務が多い職場であり波動業務に応じてどのような体制をとっていくのか、業務兼掌する場合の教育など課題があります。また、松戸車両センターでは輸送混乱時に列車の把握ができないこと、東京総合車両センター田町派出所では作業時間短縮やグループ会社の体制変更により車両品質の低下を招かないかなどの問題がでています。したがって以下の通り申し入れを行いました！

申し入れ内容

【尾久車両センター】

1. 尾久車両センターにおける作業体制の見直しについて目的を明らかにすること。
2. 提案箇所体制について一般交代が△2となる根拠を明らかにすること。また、要員を確保し超過勤務や休日出勤が発生しない体制とすること。
3. ダイヤ改正以降の EC、EL、DL、キヤのそれぞれの平日、土休日における仕業検査本数を明らかにすること。また、1日最大本数をそれぞれ明らかにすること。
4. 尾久車両センターは波動業務が多いが、業務量に応じてどのように対応するのか具体的に示すこと。
5. 体制変更により対応できなくなることが危惧されることから、臨時の仕業検査や修繕、入換業務が発生した場合の対応方法を示すこと。
6. 作業ダイヤについては、全社員の意見を尊重して作成すること。
7. 新たな担務を担う場合、丁寧な教育を行い技術・技能を低下させないこと。また、効率化のための過度な多能工化は行わないこと。
8. 体制変更により安全や車両品質が低下しないようにすること。

【松戸車両センター】

1. 輸送混乱時にどの編成がどの運用に使用されているのか把握できなくなるため、小田急線内の JR 車両の編成番号・列車番号・在線位置がリアルタイムで把握できるシステムを構築すること。

【東京総合車両センター保全科田町派出所】

1. 1845Eについてダイヤ改正以降仕業検査を行うようになるため、仕業検査と全般清掃を同時並行で行うこととなり作業時間が短縮となることから車両品質が低下することが危惧される。清掃時間を確保し車両品質を維持・向上させること。
2. 車両の安全や品質を保つため、臨時修繕等の対応ができるよう体制を確保すること。

職場の働きがい・生きがいが実感できる

ダイヤ改正にするために、団体交渉に臨みます。

